

様式第1号（第4条関係）

平成28年6月17日

行田市長 工藤 正司 様

&lt;提案者&gt;

所在地

団体名 行田ゼリーフライ研究会

代表者氏名 松井秀二郎

電話番号

e-mail

## 行田市市民活動やる気応援助成金事業提案書

行田市市民活動やる気応援助成金の交付を受けるための提案事業としての採択を受けたいので、下記のとおり提案します。

## 記

- 1 助成事業の種類（いずれか該当するほうに○）

新たな取組応援事業 ・ スタート応援事業

- 2 事業の名称 <市民が勝手にまちおこしプロジェクト>『古着コレクション』（ふるこれ実行委員会）

3 総事業費 金 183,030 円

4 助成対象額 金 91,515 円

- 5 添付書類

- (1) 新たな取組応援事業計画書（様式第2号）又はスタート応援事業計画書（様式第3号）
- (2) 事業詳細計画書（様式第4号）
- (3) 収支予算書（様式第5号）
- (4) 会員名簿（様式第6号）
- (5) 団体の定款又はこれに準ずるもの
- (6) 活動実績一覧（様式第7号）
- (7) NPO法人化に向けた取組実績が確認できる書類（スタート応援事業）
- (8) その他助成金の審査において市長が必要と認める書類

## 新たな取組応援事業計画書

|                                                                                                                                                                                                                                                                                      |                                                                                                               |
|--------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|---------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 事業名                                                                                                                                                                                                                                                                                  | 《市民が勝手にまちおこしプロジェクト》<br>『古着コレクション』（ふるこれ実行委員会）                                                                  |
| 助成分野                                                                                                                                                                                                                                                                                 | <input type="checkbox"/> “ひとの元気” <input type="checkbox"/> “地域の元気” <input checked="" type="checkbox"/> “まちの元気” |
| 実施期間                                                                                                                                                                                                                                                                                 | 平成 28 年 9 月 11 日 ～ 平成 28 年 9 月 11 日                                                                           |
| <p>事業の目的（地域のニーズや課題等を明確にしたうえで具体的に記載してください）</p> <p>行田市は現在、人口流失によって消滅可能性都市に入る程になってしまっています。高齢者は増え、若年層は激しく減少の傾向にあります。</p> <p>人口が減り続けている行田市ですが、「このまちに住みたい・住み続けたい」と思ってもらうために、何が出来るかを考えた結果、「女性が住みたいと思えるまちをつくろう！」という結論に至りました。子育ては確かに家族全員で行うものですが、その主役である女性が暮らしやすいと思えるまちというのは、人が集まると考えました。</p> |                                                                                                               |
| <p>事業の概要（詳細については、事業詳細計画書（様式第4号）に記載してください）</p> <p>行田市の埼玉古墳公園内のさきたま広場において、古着を使用した子供向けのファッションショーを開催します。ファッションショーの主役になるのは、子どもたちですが、実際の主役は「若いママ」です。そのために、イベント中、1時間程度育児から離れて、ヨガやネイル等を楽しんでもらう時間を作ります。この日は、子供から家族・市民が楽しめ、住みやすいまちとして行田をアピールしたいと思えます。</p>                                      |                                                                                                               |
| <p>事業実施により期待される効果（事業の成果、波及効果などを記載してください）</p> <p>この事業を実施後、行田市の「楽しく住みやすいまち」としての関心が高まり、現在よりも定住人口が増えるきっかけとなることを図ります。また、若年層だけでなく高齢者など年齢を問わずに楽しく過ごせるまちになることにより、地域の活性化につながられ、行田市の発展に寄与するものと考えます。</p>                                                                                        |                                                                                                               |

## 事業詳細計画書

| 個別事業名                         | 事業の詳細・実施方法                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                     | 実施期日       | 実施場所                                  |
|-------------------------------|------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|------------|---------------------------------------|
| 『古着コレクション2016』<br>(ふるコレ実行委員会) | <p>行田ゼリーフライ研究会は、行政主体ではなく市民の力でまちおこしを進めるため、2016年1月「市民が勝手にまちおこし」シンポジウムを開催しました。《市民が勝手にまちおこしプロジェクト》は、その後の3回のワークショップにおいて、結成されました。『古着コレクション2016』は、そのプロジェクトの企画の一つです。</p> <p>開催日： 2016年9月11日(日)<br/> 開催時間： 午前11時～午後5時<br/> 開催場所： 埼玉古墳公園内さきたま広場</p> <p>行田市内の各保育園・幼稚園にお願いして、保護者さんから古着を供出してもらい、それをさきたま広場に展示し、その中から気に入ったものを園児に選んでもらい、ファッションショーを開催します。(対象は3歳～5歳児)</p> <p>また、主役は「若いママさん」との考えから、イベント中には、「若いママさん」には、ヨガ教室やネイルを楽しんでももらいます。そのため、参加については、1家族単位(お子さん・パパ・ママ・おじいちゃん・おばあちゃん等)でと考えています。</p> <p>また、このイベントは、スタッフだけでなく、市内の保育園や幼稚園の方々と一緒に作っていきたいと考えています。</p> | H28. 9. 11 | 埼玉古墳公園内<br>さきたま広場<br>(雨天時はコミュニティセンター) |

## 収 支 予 算 書

○収入の部

単位：円

| 科 目    | 予 算 額   | 積 算 の 根 拠        | 備 考 |
|--------|---------|------------------|-----|
| 市助成金   | 91,515  | 予算の2分の1          |     |
| 参加費    | 50,000  | 参加費(1組500円×100組) |     |
| 実行委員負担 | 41,515  | 実行委員による負担        |     |
| 合 計    | 183,030 |                  |     |

○支出の部

単位：円

| 科 目      | 予 算 額    | 積 算 の 根 拠          | 助成対象額    |
|----------|----------|--------------------|----------|
| 発電機（リース） | 6,000    | @3,000円×2台=6,000円  | 6,000    |
| ちらし      | 4,950    | @A4 2,000部         | 4,950    |
| ポスター     | 10,000   | @200部 10,000円      | 10,000   |
| レッドカーペット | 10,000   | @90cm幅×10m=10,000円 | 10,000   |
| ものほし棒    | 12,000   | @12本               | 12,000   |
| ハンガー     | 4,080    | @600本              | 4,080    |
| 音響       | 100,000  | ランウェイとヨガ用等         | 100,000  |
| ブルーシート   | 1,000    | @500円×2枚           | 1,000    |
| テント      | 20,000   | @10000円×2台         | 20,000   |
| イベント保険   | 15,000   | @150円×100人         | 15,000   |
| 長机・椅子等   |          |                    |          |
| 合 計      | ¥183,030 |                    | ¥183,030 |

※ 提案事業の総事業費の収支を記載してください。

※ 支出の部〔助成対象額〕欄には、科目ごとの助成対象額を記載してください。

会 員 名 簿（団体名：行田ゼリーフライ研究会 ）

役職名、氏名（フリガナ）、住所は必須です。（住所は地番、方書まで記入してください。）

| N o | 役職等 | 氏 名                 | 住 所 | 摘 要 |
|-----|-----|---------------------|-----|-----|
| 1   | 会長  | まつい ひでじろう<br>松井 秀二郎 |     |     |
| 2   | 副会長 | やまぐち ひろまさ<br>山口 浩正  |     |     |
| 3   |     | うえたけ わたるゆき<br>植竹 亘之 |     |     |
| 4   |     | むかい たかもり<br>向井 隆盛   |     |     |
| 5   |     | かとう あやの<br>加藤 綾野    |     |     |
| 6   |     | のちよ しょうへい<br>野本 翔平  |     |     |
| 7   |     | のむら まさよ<br>野村 昌代    |     |     |
| 8   |     | さおとめ まゆみ<br>五月女 真由美 |     |     |
| 9   |     | かんだ れいこ<br>神田 玲子    |     |     |
| 10  |     | ながた つばさ<br>永田 翼     |     |     |

# 行田ゼリーフライ研究会会則

## 〔名称〕

第1条 この会の名称は「行田ゼリーフライ研究会」とする。

## 〔目的〕

第2条 この会は、ゼリーフライを行田の貴重な食文化であると捉え、その存続・普及を図るとともに、ゼリーフライと行田の名を全国に広めることにより、地域の活性化とまちおこしに寄与することを目的とする。

## 〔事務局〕

第3条 この会の事務局は、会長宅に置く。

## 〔事業〕

第4条 この会は、第2条の目的を達成するため以下の事業を行う。

- ①ゼリーフライに関する情報を収集し、ゼリーフライ文化を探求・創造する。
- ②会員相互の情報交換と親睦を図る。
- ③世界に向けて広く、ゼリーフライと行田の情報を発信する。
- ④ゼリーフライの普及を図るための事業、イベント等を企画・実施する。
- ⑤有識者等を招き、識見を高めるための事業を行う。
- ⑥公共機関、公共的団体、NPO等との協働によりコミュニティの醸成を図る。
- ⑦その他この会の目的を達成するための事業を行う。

## 〔会員〕

第5条 この会は、会の設立趣旨、目的に賛同するものを以って組織する。

- 2 会員となろうとするものは、入会の申込み、承認を経て、会員の資格を取得する。
- 3 会員の種類は、研究員、サポーター及び賛助会員とし、それぞれ以下のとおりとする。
  - ① 研究員（個人に限る。） 定例会に参加し、事業等を企画・立案するとともに、各事業の運営、実施にあたる。
  - ② サポーター（個人、団体を問わない。） この会が行う事業の支援、協力を行う。
  - ③ 賛助会員（ゼリーフライを製造、販売する事業者、店舗又は法人とする。） この会の運営、事業の実施に協力するとともに、この会が実施、参加するイベント等において販売業務を行うことができる。ただし、非会員の販売業務を制限するものではない。
- 4 サポーター及び賛助会員は、必要がある場合には、定例会に参加することができる。

## 〔役員〕

第6条 この会の役員は、以下のとおりとする。

- ① 会 長 1名
  - ② 副会長 2名
  - ③ 会 計 2名
  - ④ 監 事 2名
- 2 必要に応じて、若干名の幹事を置くことができる。

## 〔役員選出〕

第7条 この会の役員は、定例会において研究員の中から互選する。必要と認める場合は、賛助会員の中から役員を選出することができる。

## 〔役員職務〕

第8条 会長は、本会を代表し、会務を統括する。

- 2 副会長は、会長を補佐し、会長に事故があるときは 会長を代行する。
- 3 会計は、会の経理を掌理する。

- 4 監事は、会の経理を監査する。
- 5 幹事は、定例会において指定する個別の事業、研究業務などにあたる。

#### [役員の任期]

- 第9条 役員の任期は3年とし、再任を妨げない。
- 2 補欠役員の任期は、前任者の残任期間とする。

#### [会計年度]

- 第10条 この会の会計年度は、4月1日から翌年の3月31日までとする。

#### [会費]

- 第11条 この会は、会員が納入する会費を以って運営する。
- 2 会費は年額とし、次の区分による。
    - ① 研究員 6,000円
    - ② サポーター 1口1,000円(0口以上)
    - ③ 賛助会員 1口3,000円(1口以上)

#### [寄付]

- 第12条 寄付は、この会の活動の趣旨を損なわない場合でなければ、受領することができない。

#### [退会]

- 第13条 退会しようとする会員は、書面又は電子メールをもって会長に申し出なければならない。
- 2 会員が死亡したとき、又は引き続き2年以上会費を納入しないとき(納入義務のある場合に限る。)は、退会したものとみなす。
  - 3 次に掲げる行為を為す会員は、退会させることができる。
    - ① この会の活動に支障を来たすこと
    - ② この会の名誉を毀損すること
    - ③ その他この会の目的にそぐわない行為をなすこと
  - 4 年度の途中で退会した者の会費は返還しない。

#### [会議]

- 第14条 この会の会議は、研究員による定例会及び全会員による総会とする。

#### [会議の招集]

- 第15条 会議は会長が招集する。

#### [総会]

- 第16条 定期総会は年一回開催し、以下の事項を審議する。
- ① 会則の変更
  - ② 役員の就任承認
  - ③ その他会の運営に関する重要な事項
- 2 必要があると認めるときは、会長は臨時に総会を開催することができる。

#### [補則]

- 第17条 この会則に定めるもののほか、会の運営に必要事項は別に定める。
- 附 則
- 1 この会則は、平成19年6月1日から施行する。
  - 2 第11条の規定にかかわらず、平成19年度の会費は、定例会で決定したときに徴収する。

## 活動実績一覧

| 期 日<br>(時間)  | 内 容                                                 | 場 所               | 備 考 |
|--------------|-----------------------------------------------------|-------------------|-----|
| H28. 1. 16   | 「まちが元気ってなんだ?!」シンポジウム                                | 商工センター<br>ホール     |     |
| H28. 1. 27   | 「市民が勝手にまちおこし」プロジェクト企画ワークショップ 第1回開催<br>チーム『りゅうのひげ』発足 | 商工センター<br>403 会議室 |     |
| H28. 3. 2    | 「市民が勝手にまちおこし」プロジェクト企画ワークショップ 第2回開催                  | 商工センター<br>403 会議室 |     |
| H. 28. 3. 16 | 「市民が勝手にまちおこし」プロジェクト企画ワークショップ 第3回開催                  | 商工センター<br>403 会議室 |     |
| H28. 4. 20   | チーム『りゅうのひげ』、ふるこれ実行委員会となる。                           | 足袋蔵ミュージアム2F       |     |
| H28. 5. 12   | 第2回「ふるコレ」実行委員会                                      | コミュニティ<br>センター    |     |
| H28. 5. 20   | 第3回「ふるコレ」実行委員会                                      | コミュニティ<br>センター    |     |
| H28. 6. 1    | 第4回「ふるコレ」実行委員会                                      | ものづくり大<br>学       |     |
| H28. 6. 10   | 第5回「ふるコレ」実行委員会                                      | コミュニティ<br>センター    |     |
| H28. 6. 22   | 第6回「ふるコレ」実行委員会                                      | ものづくり大<br>学       |     |

※写真やチラシ等、活動内容が分かるものがあれば添付してください。

# フェリコロレ

AUTUMN BIRTHDAY 2016

EXPLOSION

ママから子どもへ  
伝わる音楽

子どもは  
バグハツ

2016年10月11日 (日)

ママから子どもへ伝わる音楽

am 11:00 START

@さきたま古墳公園西側 芝生広場

「ふるコレ」とは・・・

パリ・コレクション、ミラノ・コレクション、NYコレクション、ロンドン・コレクション・・・  
世界には様々なファッションショーがあります。

が！！今回世界で初！行田で開催されるのが「FURUGI・コレクション」略して「ふるコレ」  
です。その名のとおり、古着を使ったファッションショーのことです。

#### イベントスケジュール

|        |          |                      |
|--------|----------|----------------------|
| 11:00～ | 受付開始     | <募集要項>               |
| 13:30～ | ランウェイタイム | ・ 3～5歳のオシャレに自信のある子   |
| 15:00～ | 審査タイム    | ・ 参加費 500円（当日受付で支払い） |
| 16:00～ | 審査結果発表   | ・ 定員 先着100名          |
| 17:00  | 閉幕       |                      |

第1回ふるコレのテーマは「爆発」

#### <ルール>

- ・ 会場にある「古着」を一点以上使用＋自前の服でコーディネート
- ・ 最もテーマに沿ったコーディネートをした子が優勝
- ・ 審査方法は「特別審査員票」と「一般票」によります
- ・ 優勝した子は「第1回勝手に行田宣伝こども大使」に任命されます。  
（様々なメディアへ出演していただくかも・・・！）

会場の古着は、市内の  
保育園・幼稚園に通っ  
ている方から提供され  
たものです！御協力、  
ありがとうございます！

！！家族でご参加ください！！

当日は、メインのファッションショーの他、

・ 古墳ヨガ ・ 秋からのスキンケア作りワークショップ ・ ネイル etc・・・

このへんに絵をいれます

女性が楽しめる企画が盛りだくさん！

普段仕事・子育てをがんばってるお母さん、この日は少しだけ、「オンナノコ」に戻って、楽しんでいてください！そして、ご家族のみなさん、この日はママがヨガやネイルで楽しめるように、みなさんで「ふるコレ」に参加して、ママが子育てから少しだけ、離れられる時間を作りましょう！

ふるコレ2016 AUTUMN COLLECTION 応募について

#### <出場対象者>

平成23年度～平成25年度生まれの子（幼稚園に通える年齢の子）

#### <応募方法>

メール（hurukore.gyoda@gmail.com）または FAX（048-556-3593）に必要事項を明記してどしどし応募ください！

- ・ 参加する子のお名前（フリガナ）と年齢・保護者氏名・保護者電話番号
- ・ 保護者のメールアドレス（ファッションショーの詳細等をお送りいたします）
- ・ 通っている幼稚園又は保育園名

問い合わせ ふるコレ実行委員会 事務局 加藤 080-3454-7577